



くらしと社会に関する意識調査 結果の概要

国立大学法人千葉大学公共研究センター

COE スタートアッププログラム 「環境制約・人口減少下でのコミュニティ形成」研究プロジェクト

この調査は、日々の暮らしやお仕事の状況などについてお伺いし、人口減少・少子高齢・地球温暖化など、大きな構造変化に直面しつつある現在の経済社会を持続可能なシステムに切り替えていくための政策提言に役立てることを目的として平成 21 年 12 月に実施しました。調査にご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

<お問い合わせ先>

千葉大学人文社会科学部研究科公共研究センター

TEL/FAX 043-290-2337

目次

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 生活満足度 | 8. 日本人であることを誇る程度 |
| 2. 生活の質 | 9. 労働時間と収入 |
| 3. 考え方 | 10. この一年間の貯蓄状況 |
| 4. 考え方 / 貧困の理由 | 11. 近所 |
| 6. 考え方 / 公共の利益と個人の自由 | 12. 人に対する信用 |
| 6. 勉強によって地位が向上する可能性の程度 | 13. 信用の程度 |
| 7. 男女についての意見 | 14. 信用の程度 |

調査概要

1. 調査件名	くらしと社会に関する意識調査
2. 調査方法	調査員による訪問留置訪問回収法
3. 調査期間	平成 21 年 12 月 5 日 ~ 12 月 21 日
4. 調査対象	満 20 歳以上の男女個人
5. 調査地域	全国
6. 標本数	1,000 サンプル
7. サンプリング	割当法
8. 地点数	100 地点

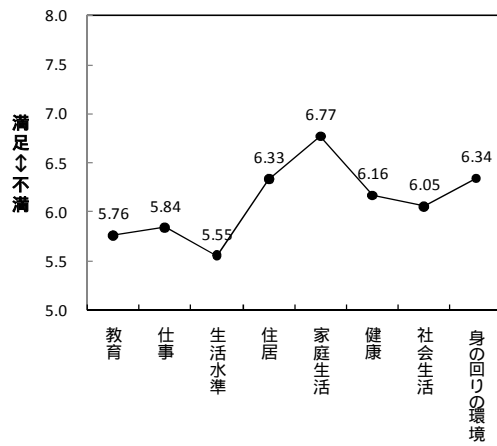
調査の実施は株式会社日本リサーチセンターが担当した。

1.生活満足度

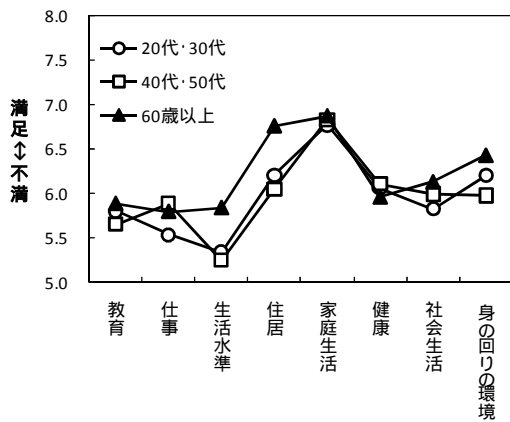
あなたは、次にあげる項目に、それぞれどの程度満足していますか。1を「とても不満」、10を「とても満足」とすると、10段階のうちどれに当たるかをお答えください。

- それぞれの平均は5~7の間に収まっている。
- 男女差は大きくないが、女性では若い人ほど健康に満足を感じている。
- 年齢別では、60歳以上が健康を除くほとんどの項目で生活満足度が高い。

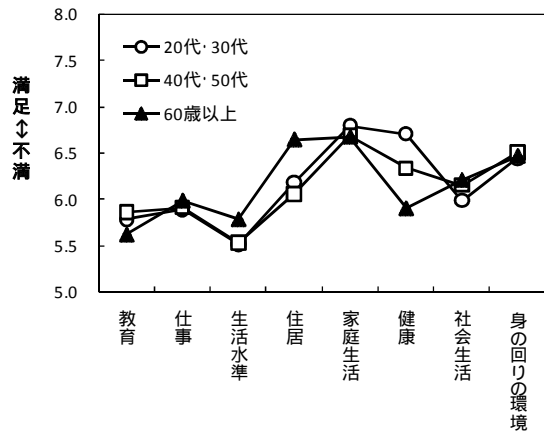
生活満足度



【男性】



【女性】

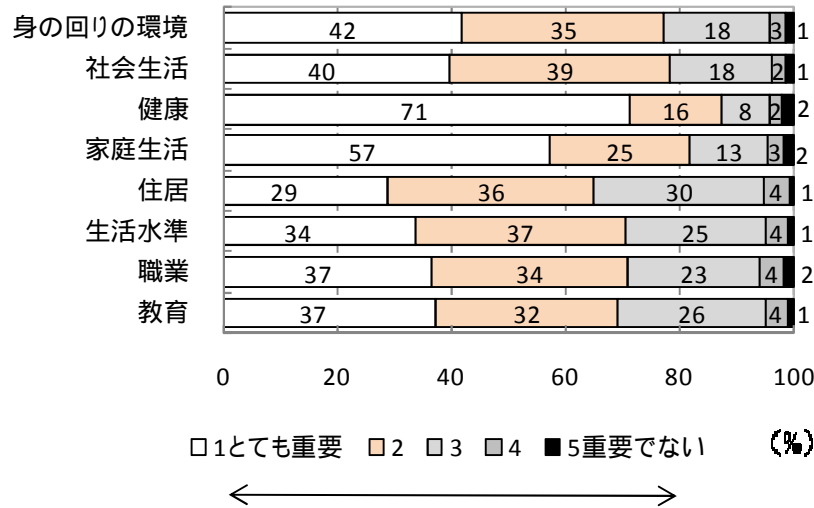


2.生活の質

あなたは、生活の質として、ここにあげる a)~h)はあなたにとって、それぞれどの程度重要ですか。

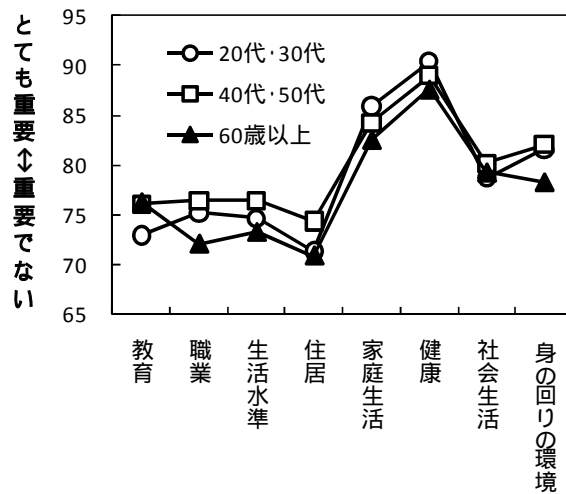
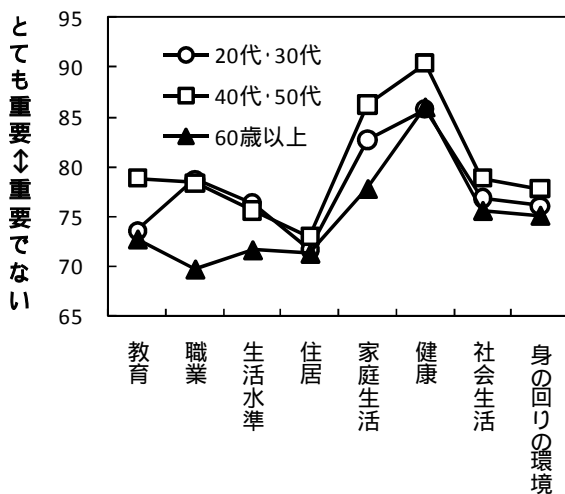
- 健康や家庭生活を「とても重要」とする回答がそれぞれ7割、6割と高くなっている。
- 男性では40代・50代のほうがほかの年代よりも家庭生活や健康を「とても重要」と考える割合が高い。
- 女性は男性よりも年齢による回答の違いが少ない。

生活の質



【男性】

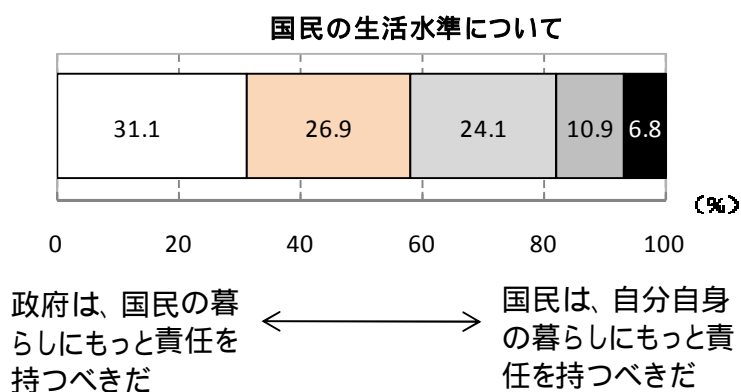
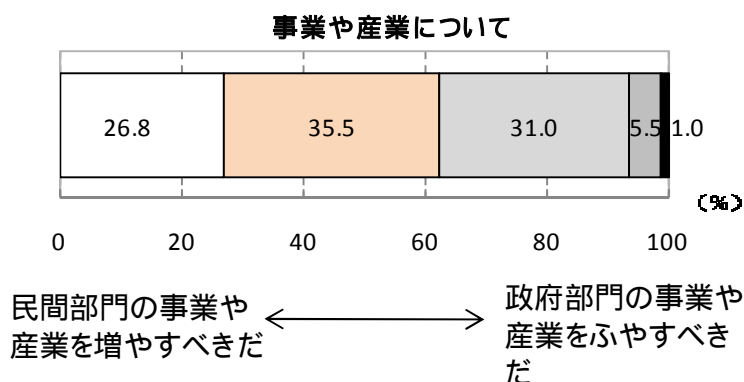
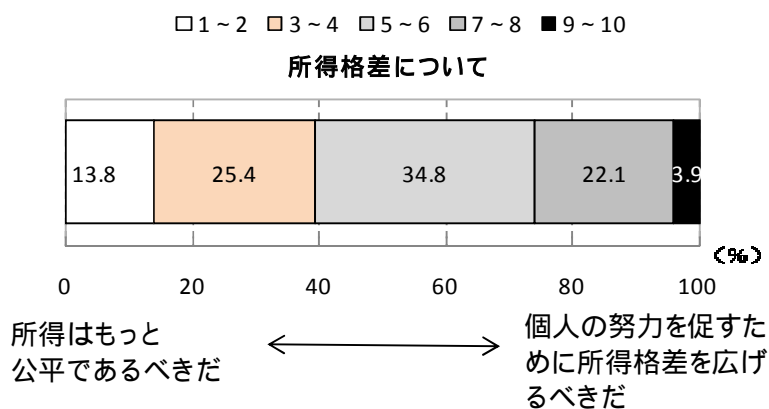
【女性】



3. 考え方

「1」は、左側の意見に「まったく賛成」、「10」は右側の意見に「まったく賛成」の意味です。あなたの意見がそれぞれ1～10のどこに当たるかお答えください。

- ・ 5～6の回答を中立として考えると、「所得はもっと公平であるべきだ」という回答が4割弱で、「個人の努力を促すために所得格差を広げるべきだ」という回答の3割弱を上回る。
- ・ 「民間部門の事業や産業を増やすべきだ」という回答が6割強で、「政府部門の事業や産業を増やすべきだ」という回答の1割弱を大きく上回る。
- ・ 「政府は、国民の暮らしにもっと責任を持つべきだ」という回答が6割弱で、「国民は、自分自身の暮らしにもっと責任を持つべきだ」という回答の2割弱を大きく上回る。

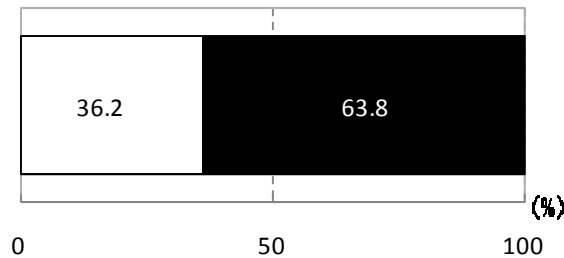


4. 考え方 / 貧困の理由

どちらの意見にあなたは賛成ですか。もしはっきりしない場合は、あなたの考えにより近い番号をお答えください。

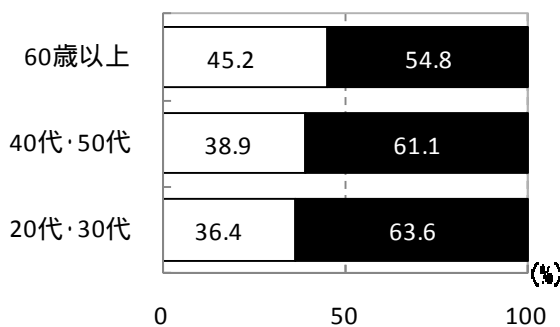
- ・ 「貧しい人があるのは、政治や社会制度に問題があるからである」という回答が6割強で、「貧しい人があるのは、本人の努力や能力が不足しているからである」という回答の4割弱を大きく上回る。
- ・ 女性のほうが男性よりも「政治や社会制度に問題があるから」という回答が多い。
- ・ 男性では年齢が若いほど「政治や社会制度に問題があるから」という回答が多い。一方、女性では40代・50代で「政治や社会制度に問題があるから」という回答が最も多くなっている。

考え方 / 貧困の理由



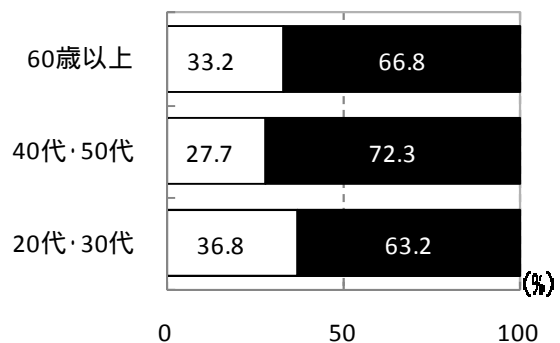
- 貧しい人があるのは、本人の努力や能力が不足しているからである
- 貧しい人があるのは、政治や社会制度に問題があるからである

【男性】



- 貧しい人があるのは、本人の努力や能力が不足しているからである
- 貧しい人があるのは、政治や社会制度に問題があるからである

【女性】



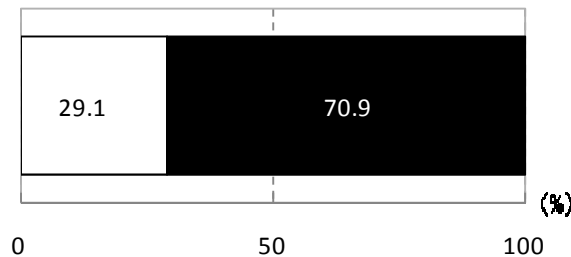
- 貧しい人があるのは、本人の努力や能力が不足しているからである
- 貧しい人があるのは、政治や社会制度に問題があるからである

5. 考え方 / 公共の利益と個人の自由

どちらの意見にあなたは賛成ですか。もしはっきりしない場合は、あなたの考えにより近い番号をお答えください。

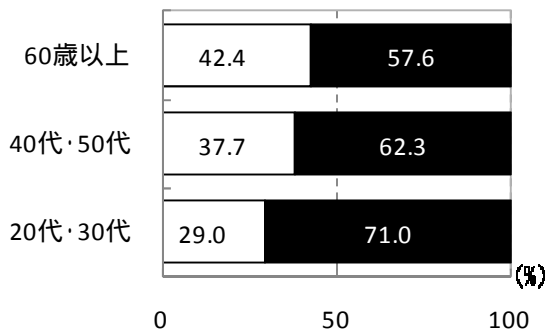
- ・ 「個人の自由や幸福を犠牲にして、公共の利益を求めるのは望ましくない」という回答が7割強で、「公共の利益を達成するためには、個人の自由や幸福はある程度制限されてもよい」という回答の3割弱を大きく上回る。
- ・ 女性のほうが男性よりも「個人の自由や幸福を犠牲にして、公共の利益を求めるのは望ましくない」という回答が多い。
- ・ 年齢別では60歳以上のほうが「公共の利益を達成するためには、個人の自由や幸福はある程度制限されてもよい」という回答が多い。

考え方 / 公共の利益と個人の自由



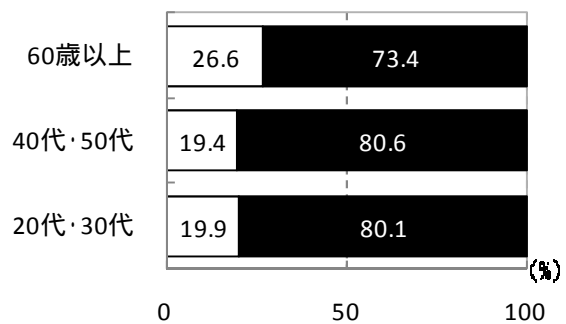
- 公共の利益を達成するためには、個人の自由や幸福はある程度制限されてもよい
- 個人の自由や幸福を犠牲にして、公共の利益を求めるのは望ましくない

【男性】



- 公共の利益を達成するためには、個人の自由や幸福はある程度制限されてもよい
- 個人の自由や幸福を犠牲にして、公共の利益を求めるのは望ましくない

【女性】



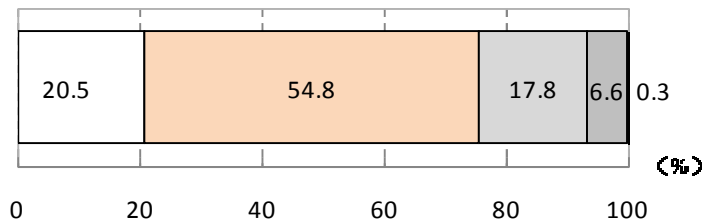
- 公共の利益を達成するためには、個人の自由や幸福はある程度制限されてもよい
- 個人の自由や幸福を犠牲にして、公共の利益を求めるのは望ましくない

6. 勉強によって地位が向上する可能性の程度

一生懸命努力して勉強したり専門知識を身につけたりすることで、社会的・経済的な地位が向上する可能性はどれくらいあると思いますか。あてはまる番号を一つお答えください。

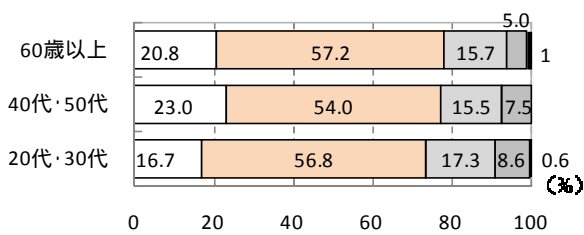
- ・ 「かなりある」、「ある程度ある」という回答が合わせて7割強、「あまりない」、「まったくない」という回答が合わせて1割弱となっている。
- ・ 勉強によって地位が向上する可能性があると考えている人の割合は、20代・30代の女性で最も高いのに対し、同じ20代・30代の男性ではその割合が低くなっている。
- ・ 勉強によって地位が向上する可能性が「あまりない」、「まったくない」という回答は、男女ともに20代・30代が多い。

勉強によって地位が向上する可能性の程度



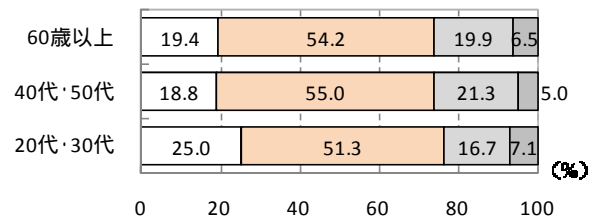
- 1 かなりある 2 ある程度ある
 3 どちらともいえない 4 あまりない
 5 まったくない

【男性】



- 1 かなりある 2 ある程度ある
 3 どちらともいえない 4 あまりない
 5 まったくない

【女性】

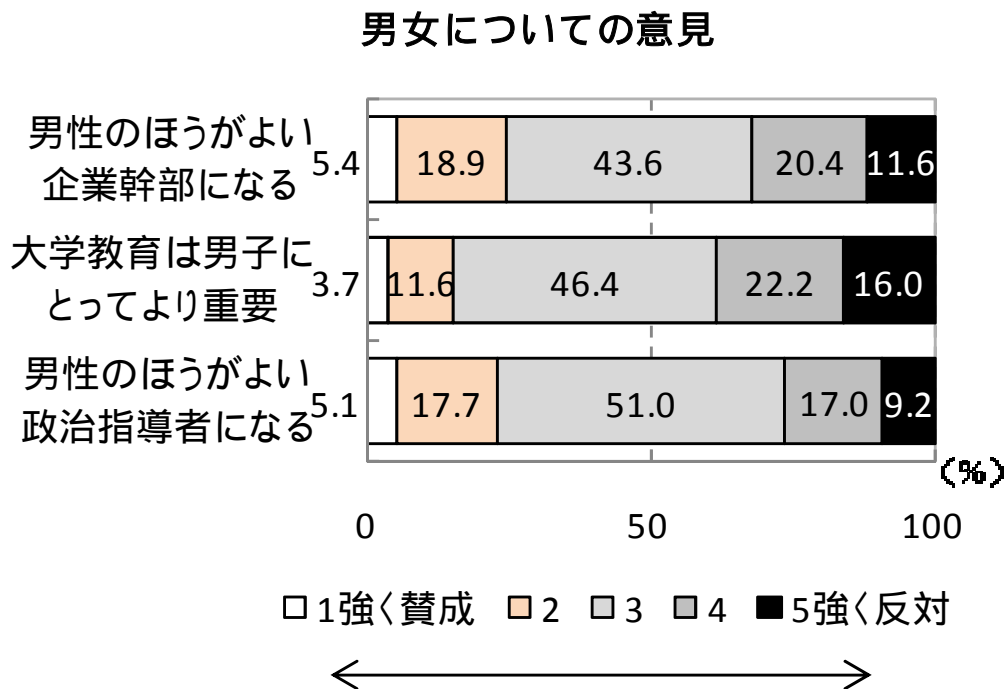


- 1 かなりある 2 ある程度ある
 3 どちらともいえない 4 あまりない
 5 まったくない

7. 男女についての意見

あなたは、男女についての以下の意見に、それぞれどの程度賛成ですか。

- ・ 「男性のほうがよい企業幹部になる」という意見については、反対の立場の人が3割強で、賛成の立場の人の2割強を若干上回る。
- ・ 「大学教育は男子にとってより重要」という意見については、反対の立場の人が4割弱で、賛成の立場の人の2割強を上回る。
- ・ 「男性のほうがよい政治指導者になる」という意見については、反対の立場の人は3割弱で、賛成の立場の人の2割強を若干上回る。
- ・ どの意見についても賛成も反対もしない立場が多くを占めている。

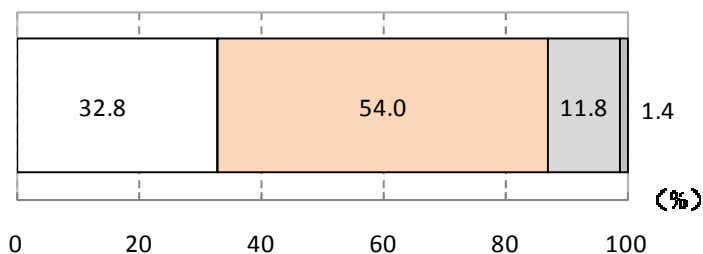


8.日本人であることを誇る程度

あなたは日本人であることをどれくらい誇りに思っていますか。あてはまる番号を一つお答えください。

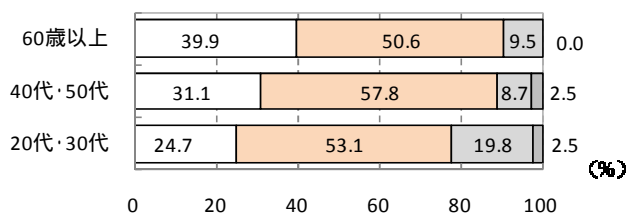
- ・ 「とても誇りに思っている」、「ある程度誇りに思っている」という回答が9割弱で、「あまり誇りに思っていない」、「全く誇りに思っていない」という回答の1割強を大きく上回る。
- ・ 男女の差はほとんどない。
- ・ 年齢別では若い年代ほど「とても誇りに思っている」という回答が少なく、「あまり誇りに思っていない」という回答が多い。

日本人であることを誇る程度



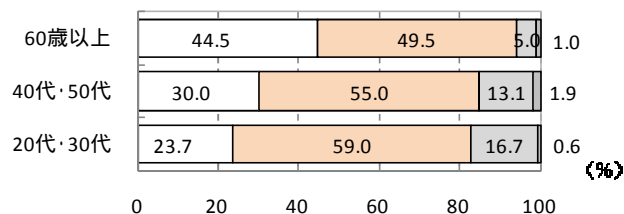
- 1 とても誇りに思っている
 □2 ある程度誇りに思っている
 □3 あまり誇りに思っていない
 □4 全く誇りに思っていない

【男性】



- 1 とても誇りに思っている □2 ある程度誇りに思っている
 □3 あまり誇りに思っていない □4 全く誇りに思っていない

【女性】



- 1 とても誇りに思っている □2 ある程度誇りに思っている
 □3 あまり誇りに思っていない □4 全く誇りに思っていない

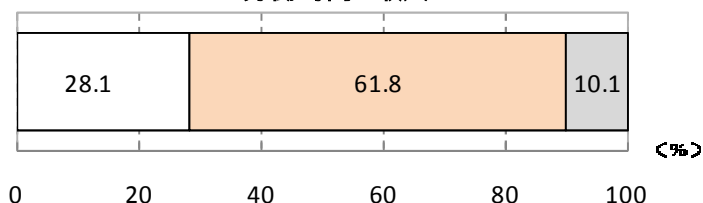
9.労働時間と収入

あなたの日頃の労働時間（残業を含みます）と、そこから得ている収入について考えてください。時間あたりの賃金（収入）は変わらないとして、次の3つの選択肢しかないとしたら、あなたはどれを選びますか。あてはまる番号を1つお答えください。（ は1つ）

- ・ 「労働時間を増やして、収入を増やしたい」という回答が3割弱で、「収入が減っても労働時間を減らしたい」という回答の1割強を上回る。
- ・ 男性では年齢が若いほど、「労働時間を増やして、収入を増やしたい」という回答が多い。
- ・ 40代・50代の女性では「収入が減っても、労働時間を減らしたい」という回答が少ない。

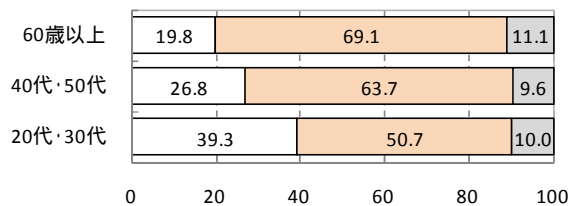
（注）この項目は男性の21%、女性の46%が現在働いていないため、回答していない。

労働時間と収入



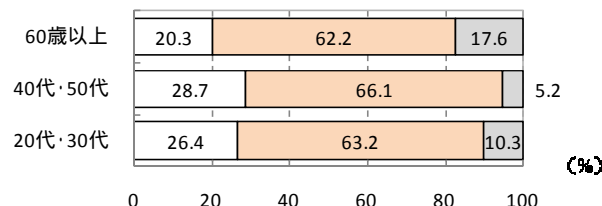
- 1 労働時間を増やして、収入を増やしたい
- 2 今と同じ時間働き、同じ収入を得たい
- 3 収入が減っても、労働時間を減らしたい

【男性】



- 1 労働時間を増やして、収入を増やしたい
- 2 今と同じ時間働き、同じ収入を得たい
- 3 収入が減っても、労働時間を減らしたい

【女性】



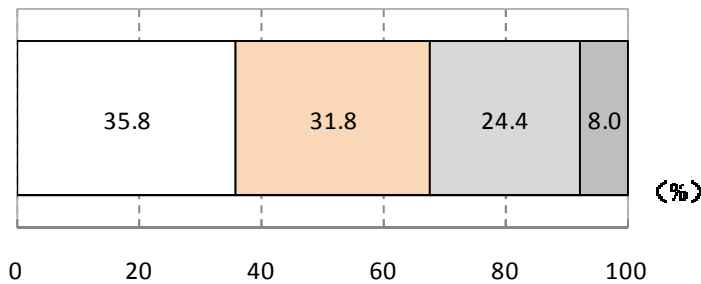
- 1 労働時間を増やして、収入を増やしたい
- 2 今と同じ時間働き、同じ収入を得たい
- 3 収入が減っても、労働時間を減らしたい

10.この一年間の貯蓄状況

この一年間、あなたの世帯は貯蓄をしましたか。あてはまる番号を一つお答えください。

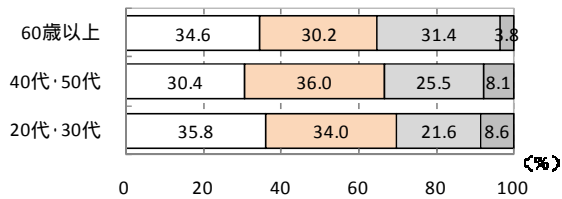
- ・ 「貯蓄をした」という回答が最も多く、次いで「収支がちょうど合う程度で貯蓄はできなかった」が多い。
- ・ 20代から50代にかけては、女性のほうが男性よりも「貯蓄をした」という回答が多い。
- ・ 年齢別では60歳以上でも「貯蓄をした」という回答が3割を超える。

この1年間の貯蓄状況



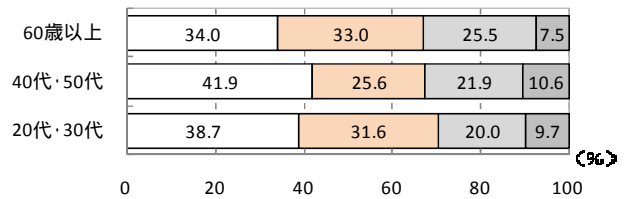
- 1 貯蓄をした
- 2 収支がちょうど合う程度で貯蓄はできなかった
- 3 貯蓄をいづらか取りくずした
- 4 貯蓄を取りくずし、借金もした

【男性】



- 1 貯蓄をした
- 2 収支がちょうど合う程度で貯蓄はできなかった
- 3 貯蓄をいづらか取りくずした
- 4 貯蓄を取りくずし、借金もした

【女性】



- 1 貯蓄をした
- 2 収支がちょうど合う程度で貯蓄はできなかった
- 3 貯蓄をいづらか取りくずした
- 4 貯蓄を取りくずし、借金もした

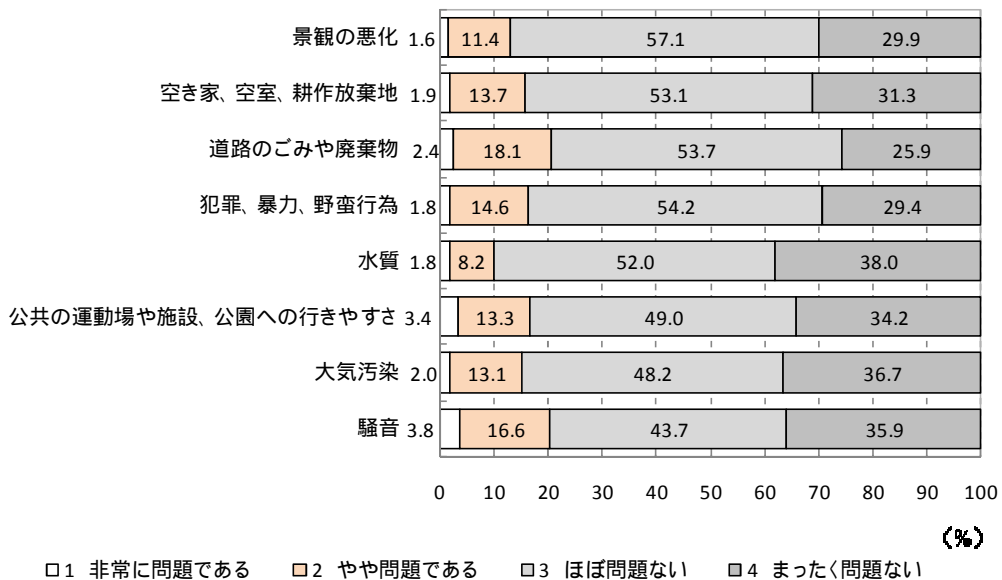
11.近所

あなたが現在お住まいの地域についてうかがいます。

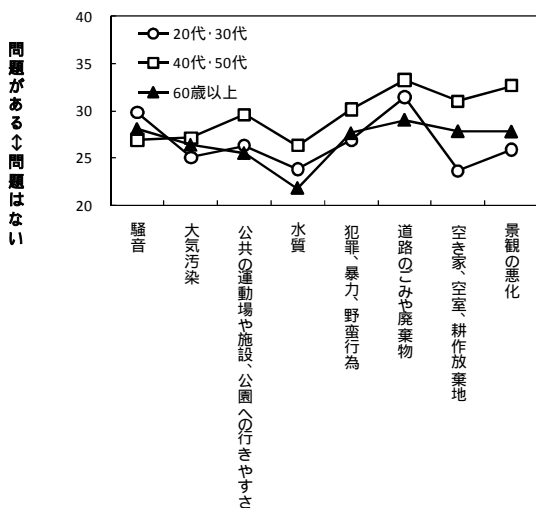
以下の a) ~ h) の事柄それぞれについて、あなたはご近所の状況をどのようにお考えですか。それぞれあてはまる番号を1つずつお答えください。(はそれぞれ1つずつ)

- ・ 「道路のごみや廃棄物」、「騒音」については、「非常に問題である」、「やや問題である」という回答が合わせて2割強と多い。
- ・ 女性のほうが男性より「問題である」と回答する項目が多い。
- ・ 年齢別では40代・50代が他の年代より「問題である」と回答する項目が多い。

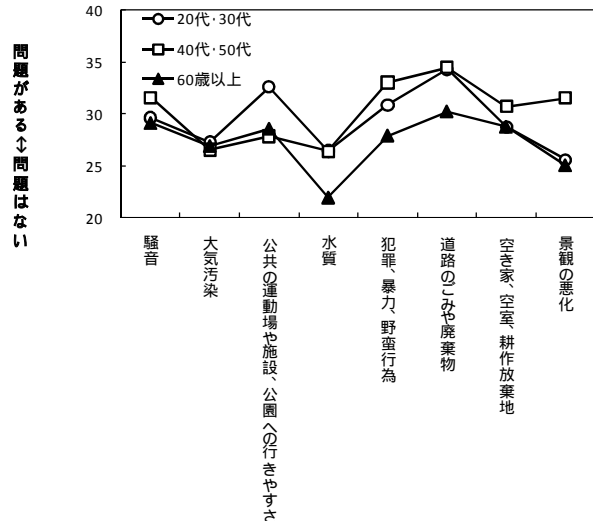
近所



【男性】



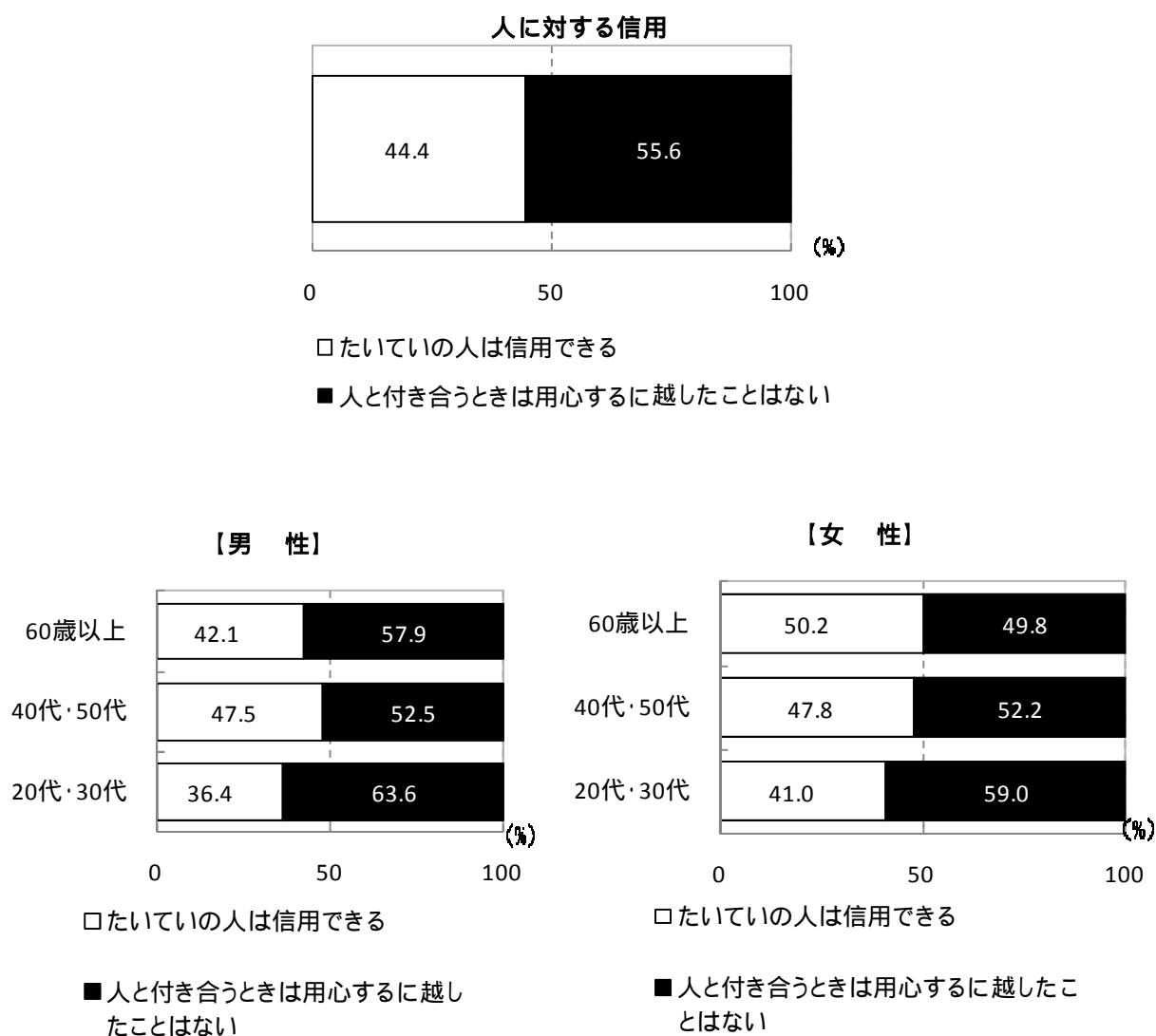
【女性】



12. 人に対する信用

一般的に言って、「たいていの人は信用できる」という意見があります。一方、「人と付き合うときは用心するに越したことはない」という意見もあります。あなたの意見は、どちらに近いですか。あてはまる番号を1つお答えください。(は1つ)

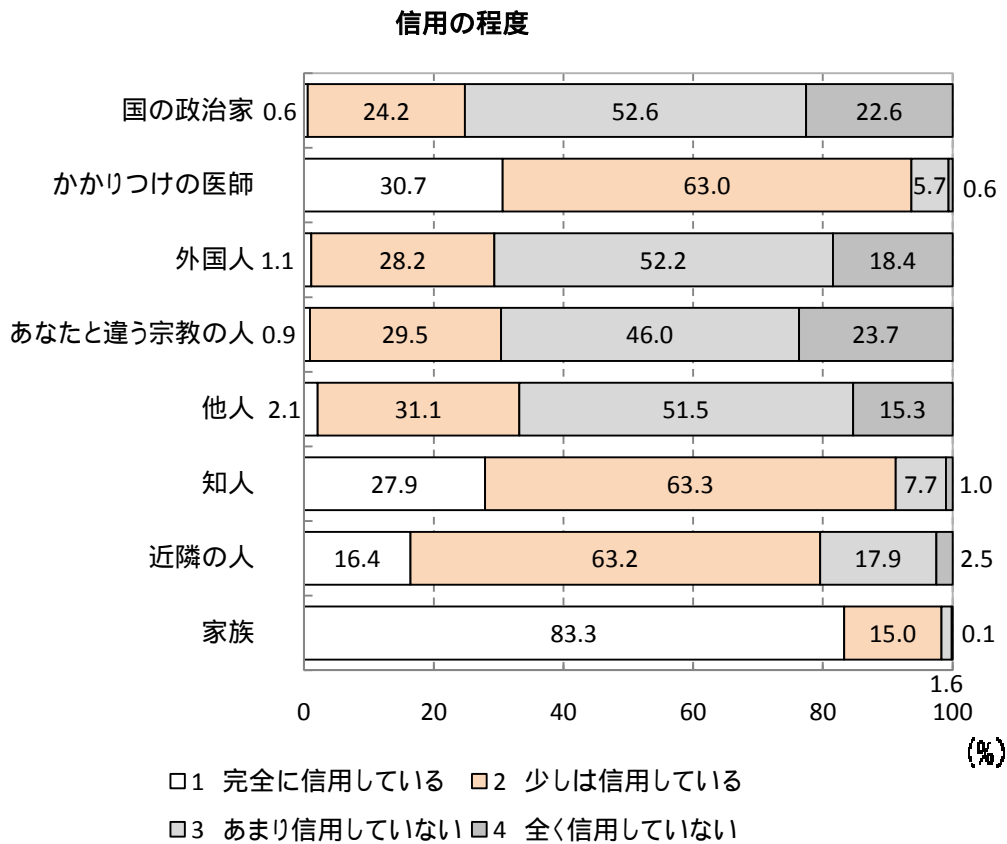
- ・ 「人と付き合うときは用心するに越したことはない」という回答が6割強で、「たいていの人は信用できる」という回答の4割強を上回る。
- ・ 女性のほうが男性より「たいていの人は信用できる」という回答が多い。
- ・ 年齢別では若い年代ほど「人と付き合うときは用心するに越したことはない」という回答が多い。



13.信用の程度

それでは、さまざまな人々についてあなたはどれくらい信用していますか。それぞれのグループについて、あてはまる番号を1つずつお答えください。(はそれぞれ1つずつ)

- ・ 「かかりつけの医師」、「知人」、「近隣の人」、「家族」の4項目について「完全に信用している」、「少しは信用している」という回答が合わせて8割~9割程度となっている。

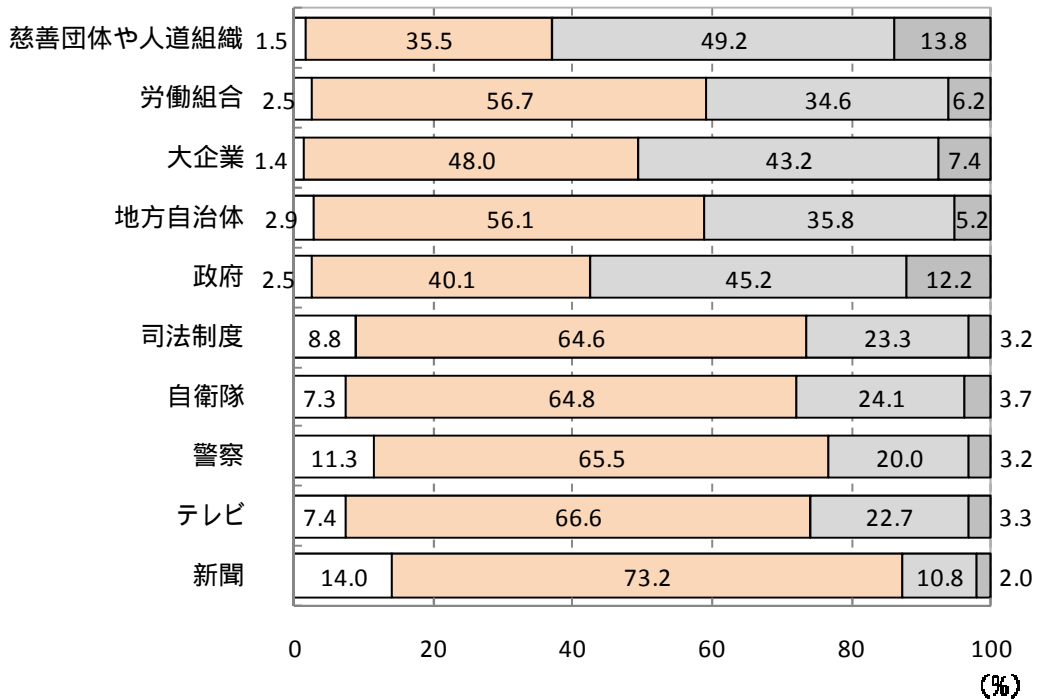


14.信用の程度

あなたは、さまざまな組織や機関をどのくらい信用していますか。以下の a) ~ j) のそれぞれの組織や機関についてお答えください。(はそれぞれ1つずつ)

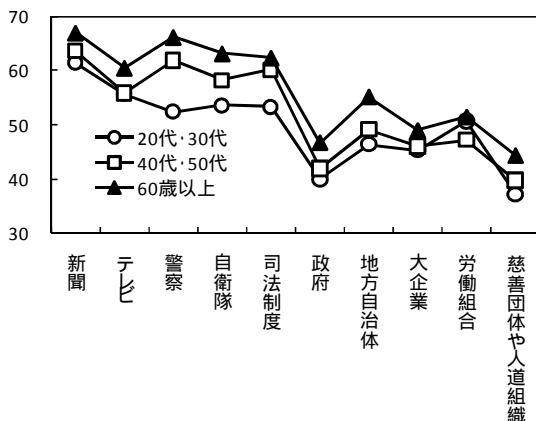
- ・ 「司法制度」、「自衛隊」、「警察」、「テレビ」、「新聞」の5項目について「完全に信用している」、「少しは信用している」という回答が7割を上回っている。
- ・ 女性のほうが男性よりもどの項目についても、信用の程度が高い。
- ・ 年齢別では年齢が高いほどどの項目についても、信用の程度が高い。

信用の程度



□1 完全に信用している □2 少しは信用している
 □3 あまり信用していない □4 まったく信用していない

【男性】



【女性】

